

12月のテキゴト

12月のいずみ自然塾は「タヌキの生態」についての講座でした。

まずはじめに「タヌキの絵を描いてみましょう」という課題が出され、出席者はそれぞれ思い思いのタヌキの絵を描くことになりました。

ご存じの方が多いとは思いますが、坂戸市はタヌキの生息地です。畑や河川敷でタヌキを見かけることもあります。改めてどんな姿をしていたのか、思い出すとかなりあやふやです。描き終えたあとでタヌキの見た目について説明があり、しっぽにシマシマを描いた方は不正解！！タヌキのしっぽにはシマシマは無く先が黒いとか、耳は三角でふちが黒いなど詳しく教えていただき、なんとなくもやもやしていたタヌキ像がはっきりしました。

タヌキの見た目を確認したところで、高麗川の河川敷に4日前から設置していた無人カメラを確認するため、土手を越えて河川敷まで歩いて移動しました。そうしたらなんとタヌキがカメラにはっきりと映っていたのです。こんなに身近なところにふらふらと歩いているのかと思ひ驚きました。

河原に残された足跡などを確認して再びいずみに戻り、タヌキの骨の標本も見ました。頭の骨は思っていたより細長かったです。

今日学んだことを活かして、もしもタヌキらしき生き物に出会ったら、遠くから見ても「タヌキだ！」と自信を持って見分けられるようになりたいと思いました。